

30日 水曜

詩篇



＜指揮者のために。【主】のしもべダビデによる。＞

36:1 私の心の奥にまで悪しき者の背きのことばが届く。彼の目の前には神に対する恐れがない。

36:2 彼は自分の判断で自分を偽り自分の咎を見つけてそれを憎む。

36:3 彼の口のことばは不法と欺き。思慮深くあるうともせず善を行おうともしない。

36:4 彼は寝床で不法を謀り良くない道に堅く立ち悪を捨てようとししない。

36:5 【主】よあなたの恵みは天にありあなたの真実は雲にまで及びます。

36:6 あなたの義は高くそびえる山。あなたのさばきは大いなる淵。【主】よあなたは人や獣を救ってくださいます。

36:7 神よあなたの恵みはなんと尊いことでしょう。人の子らは御翼の陰に身を避けます。

36:8 彼らはあなたの家の豊かさに満たされあなたは楽しみの流れで潤してくださいます。

36:9 いのちの泉はあなたとともにありあなたの光のうちに私たちは光を見るからです。

36:10 注いでください。あなたの恵みをあなたを知る者に。あなたの義を心の直ぐな人たちに。

36:11 高ぶりの足が私に追いつかず悪しき者の手が私を追いやることのないように。

36:12 そこでは不法を行う者は倒れ突き倒されて立ち上がれません。

「悪者」はなぜ悪事を続けられるのかといえば、それは「自分にへつらっている」からです。咎を見

つけてはそれを憎むことで、自分を正当化していますがそれで満足して、それ以上は変わりません。悔い改めることだけではなく、その実を結ぶことが必要なのです。

悪者の言動との対比では、主への賛美が述べられています。主のすばらしさを知るものが善を知ってそれを行い、悪者への対抗力となり得るのです。

さらには「いのちの泉」は主にあるということを知っていますから、主のもとにいて豊かな人生を過ごすことができます。主の素晴らしさを賛美し、主のくださるいのちを喜び楽しいましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

